

福岡市 Well-being & SDGs 登録制度：マスター

事業者名	西鉄観光バス株式会社
所在地	福岡市中央区那の津三丁目 8 番 15 号
市内拠点所在地	(所在地が市外の場合のみ記載) —
業種	運輸業、郵便業
電話番号	092-734-1120
ホームページ	https://nishitetsu-kankoubus.co.jp/

Well-being 向上 に向けた取組み	「働きやすい・働きがいのある職場づくり」をサステナブル経営における重要課題のひとつと特定し、以下の内容に取り組んでいます。 社員の多様性を尊重し、働く喜びや生きがいを実感できる「人を活かす経営」を行うこと 一人ひとりが意欲を高め、能力を発揮して新たな価値や革新を生み出せるよう、人材の育成・活躍推進に取り組むこと		
アンケート実施	☐	アンケートの社内共有	☐

■SDGs達成に向けた取組みチェックシート

事業者名: 西鉄観光バス株式会社

カテゴリー	チェック項目	3側面該当			具体的な取組み ※150文字以内でご記入ください	関連する主なSDGs																
		環境	社会	経済		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
人権・労働	【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者、性的マイノリティ等)が、十分に活躍できる環境を整えている。	○	○		・年齢や身体状況に関わらず多様な人材が活躍できる職場づくりを促進している。 ・高齢者雇用安定法に基づく「マスター社員制度」を整備し、定年退職後の再雇用を積極的に行っている。						○			○		○						
	【多様な働き方の促進】 ・テレワーク制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入し柔軟な勤務形態をとっている。 ・ワークライフバランスを推進している。	○	○		・在宅勤務制度の実施やフレックスタイム制、時差出勤制度を導入するなど、柔軟な勤務形態をとっている。 ・「育児休業規則」、「介護休業規則」等を制定し、介護、子育てと仕事の両立を支援する制度を導入している。						○			○		○						
	【人権の尊重】 ・ハラスメントの防止など人権が尊重された職場づくりのため、ルールが定められ、教育・相談体制が整備されている。	○	○		・「西鉄グループホットライン」を制定するとともに、自社にてハラスメントに対する相談窓口を設置している。 ・人権問題やハラスメントの防止について研修を実施している。						○			○		○					○	
	【従業員の心と体の健康への配慮】 ・長時間労働の是正に取り組んでいる。 ・従業員のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように対策に取り組んでいる。 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる。	○	○		・拘束時間、運転時間(乗務員のみ)、年休消化日数のチェック等長時間労働を是正するための具体的な取り組みを実施している。 ・メンタルヘルスに関する研修を実施している。 ・社員、準社員、契約社員、アルバイト等会社の業務に従事するすべての者を対象にストレスチェック、およびその結果に基づく担当保健士からのフィードバックを毎年実施している。				○		○			○								
	【人材育成】 ・従業員に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している。 ・職場体験やインターンシップの受入れ等、職業の学びの場を提供している。	○	○		外部の研修や講習への派遣を積極的に行っている。 ・乗務員については運転技術の向上、安全意識の徹底等を目的とした研修を年間スケジュールに沿って実施している。					○				○	○							
環境	【廃棄物・有害化学物質の管理、3Rの推進】 ・廃棄物・有害化学物質の管理を適切に行い、また削減に努めている。 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている。	○	○	○	・古紙、金属缶、ペットボトル、ガラスびん、プラスチック、電池等について、分別回収ボックスの適正配置等により、ごみの分別を徹底している。					○			○				○	○		○		
	【温室効果ガスの排出削減】 ・省エネルギーや再生可能エネルギーの利活用など、温室効果ガスの排出削減に取り組んでいる。	○		○	・クール／ウォームビズによる冷暖房の使用抑制など、エネルギーの効率的な利用を行っている。 ・LED照明を導入している。								○					○	○			
環境	【生物多様性、天然資源への配慮】 ・自社活動が生物多様性や生態系にどのような影響を与えるか確認して、持続可能な活動となるよう取り組んでいる。 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている。	○		○	・週1回会社敷地内および敷地の隣接場所にてゴミ等の収集、不安全・危険箇所の点検を行っている。							○						○	○	○	○	
	【水資源の有効活用】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、水の有効利用や節水に努めている。	○			・従業員へ節水の呼びかけに努めている。							○										
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性や品質を確保するための仕組みを構築している。	○		○	・「運輸安全マネジメント制度」に基づく取り組みを実施し、「安全報告書」にて毎年ホームページで情報を開示している。 ・旅行代理店を介して、お客様からの意見・要望を収集する仕組みが構築されている。					○								○				
	【社会課題解決】 ・社会課題の解決を意識した事業運営に取り組んでいる。 ・地域、大学、NPO、行政など多様な主体とのパートナーシップにより、社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	○	○	○	・コロナ禍における学校行事中止の現状を受け、オンライン社会科見学を実施する等社会課題を意識した新たな取り組みを実施している。また学生だけではなく、高齢者向けのオンラインツアーも今後展開していく。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公正な事業慣行・組織体制	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	○			・個人情報などの保護に関する方針を策定している。 ・社内研修を行い、情報管理のルールを周知徹底している。 ・情報システムへのセキュリティ対策を施している。 ・「にっしつグループソーシャルメディアガイドライン」を制定し、SNS等の取り扱いに関する指導教育を実施している。																○	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みが整備されている。	○			・「コンプライアンス方針」を制定し、研修を実施するなど法令遵守の重要性を従業員に発信している。 ・「コンプライアンスセルフチェック」を3年毎に実施し、法令遵守が確実に行われるようにモニタリングしている。																○	
	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標の社内への共有が行われている。	○			・経営トップ自らが毎月2回、職場巡回を行い、経営理念・経営目標等について対話することで、情報共有を図っている。 ・毎月開催される各会議体にて、経営トップ、各部署の幹部が参加し、同様に情報共有を図っている。											○	○				○	
	【事業継続、事業承継】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している。 ・事業承継に関する検討・対策を行っている。	○	○	○	・事業継続計画(BCP)を策定している。 ・緊急連絡網を作成し、緊急時の連絡体制を整備している。 ・後継者の指導・育成に取り組んでいる。												○	○		○		○